

月刊 あなたにこの本を！ 平成 20 年 10 月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの()内の番号は、大阪市立図書館書誌 ID です。

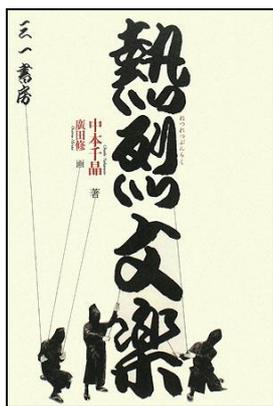


科学の扉をノックする

小川洋子 著
集英社 1470 円 (0011639530)

ジャンル：知識・教養を深める

芥川賞作家の著者が好奇心を胸に、天文学、鉱物学など科学分野の専門家たちを訪ねた。彼女の疑問に対し、科学者たちは自身の研究内容をやさしく語ってくれる。素朴な著者の一言で、獣医学博士が動物の骨を取り出す話や、鉱物学者が自ら発掘したトパーズを婚約指輪にして贈ったエピソードなどがひきだされてくる。この訪問の様子が、著者のつぶやきを交えてエッセイ風にまとめられ面白い。科学者たちの好奇心旺盛で人間味あふれる姿が印象的だ。〔404〕



熱烈文楽

中本千晶 著
三一書房 1890 円 (0011655703)

ジャンル：大阪にゆかりの本

著者は8年前、3人がかりで操る人形、絶叫する太夫とすまし顔で熱演する三味線、とんでもない筋立ての「文楽」に面食らった。そして今、すっかりその世界にはまった著者が、観る、聴く、物語を味わうの3点から、自分なりの楽しみ方を紹介する。舞台裏の取材や逸話の紹介もあり、精緻(せいち)なイラストの「図解十八番」や、歴史をたどったコラムとともに、初心者だけでなく通も楽しめる。パラパラマンガがあるなど、遊び心と見所いっぱいの一冊。〔777〕



マグロが減るとカラスが増える？ —環境問題を身近な生きものたちで考える—

小澤祥司 著
ダイヤモンド社 1365 円 (0011658803)

ジャンル：自然・環境を考える

「エコ捜査局」の局長と小学生が話し合いながら、自然と生きものの異変の原因を調査する。山のネズミやテンが減ったのは、地球温暖化でシカが増えたせい。都会にアオマツムシが増えたのは、街路樹を住みかにヒートアイランド現象によって冬を越せるようになったため。人間の営みで生物の増減するバランスが崩れていることを、専門用語をほとんど使わない対話形式でわかりやすく解説する。環境問題をより身近に感じるきっかけとなる。〔519.5〕

医療格差の時代

米山公啓 著

筑摩書房 714 円 (0011683227)

ジャンル：現代社会を見つめる

いつでも、誰(だれ)でも、どんな病院にでもかかることができる、とされた日本の医療制度が崩壊の危機を迎えている。いまや大病院でさえ深刻な医師不足の問題を抱え、医療従事者の負担は増すばかりだ。本書では医師として現場の第一線を支える著者が、現場の窮状と対策について言及。その問題の根底には、100%の健康を求め、軽い風邪の症状でも病院にかけこむ人たちの健康観があると指摘する。医療格差を招く様々な問題に真正面から踏み込んだ意欲作。〔498〕

知床・北方四島 ―カラー版―



大泰司紀之、本間浩昭 著

岩波書店 1050円 (0011652965)

ジャンル：自然・環境を考える

知床半島と北方四島を含む一帯は、流氷に育まれた豊かな生態系が存在する「地球最後の秘境」だ。本書は、流氷を介して互いに影響を受けながら生息する野生動物の姿を、豊富な写真を交えて紹介する。さらに著者は、密漁やロシアによる自然開発の増加など、野生動物に迫る危機についても言及し、日露両国による保全策を提案。その姿勢からは、「動物たちに国境はない」という、著者の深い思いが伝わってくる。北方の美しい自然に魅了される。〔402.9〕

世界のお弁当 ―心をつなぐ味レシピ 55―



服部直美 著

情報センター出版局 1575 円 (0011643255)

ジャンル：暮らしにうるおいを

世界中を旅した著者が、その国の風土や食文化ならではのお弁当をレシピやエッセイとともに紹介する。現地で買い集めた弁当箱も披露され、デザインや素材から各国の文化がうかがい知れる。家庭からお弁当を集め職場に届けるインド独特の弁当配達人や、在日ブラジル人向け弁当を開発した浜松市の弁当業者に関するルポなどは読み応え十分。様々な文章や写真が具沢山の弁当のように盛り込まれ、まるでそれらを味わうように、楽しみながら読める。〔596.4〕

一人ひとりのまちづくり ―神戸市長田区・再生の物語―



中和正彦 著

大日本図書 1680円 (0011651368)

ジャンル：現代社会を見つめる

ユニバーサルデザイン社会を目指す人々を紹介するシリーズの1冊。神戸市長田区の人々にとって、阪神・淡路大震災からの復興は、元の賑わいを取り戻すことではなく、「みんなで幸せになる」新しいまちづくりだった。地域密着のアイデアを次々と実現するタクシー会社の社長など5人の活動を追う。震災前後からの気持ちの変化が丁寧に描かれ、地域のためになにかしたいという強い想いに共感もてる。誰でもなにかできると元気づけられる。〔601〕

旅館再生 ―老舗復活にかける人々の物語―

桐山秀樹 著

角川書店 角川グループパブリッシング(発売) 720円 (0011665434)

ジャンル：現代社会を見つめる

日本の旅館の9割以上が慢性的赤字だ。その多くは、寝起きや食事の都合を押し付け、画一的なサービスを提供するだけの経営中心の宿である。本書は、「再生」に立ち上がった旅館現場の数々を紹介する。親のいぬ間に唐突に断行した老舗刷新、温泉街全体での旅館街改革、「再生請負人」による再生劇などが綿密な取材によって記される。再生へのヒントや日本旅館の魅力も書かれ、関係者にはもちろん、旅の宿を選ぶ際の参考にもなる。〔688.8〕